

指定管理者選定委員会 委員間協議概要

応募団体によるプレゼン及びプレゼンや応募資料に対する質疑後、非公開で行われた選定委員による協議の概要です。

●まちサポ・マナイ共同事業体への講評

- ・まちサポとマナイ商店街という組み合わせによって、前回から予算書や事業計画が大きく変わるかと期待していたが、他社より具体性が薄く、上回る情熱もあまり感じられなかった。
- ・まちサポがマナイ商店街と組むということは、良いと思ったが、具体的な計画に欠けていた。一緒になるメリットがあまり見えなかった。
- ・前回からこの2年間の差が出た印象。NPOと商店街の共同ベンチャーや高校生を巻き込む発想、駐車場の問題解決意欲は良かったが、予算の数字の根拠や8万人の目標達成方法なども具体的でなかった。
- ・市の示した5つの方針はとても大切だと思っている。しかしながら、説明を聞く限りその認識は薄かった。
- ・まちサポとマナイ商店街の共同事業体は、市民協働のあるべき姿だと思うが、そのような団体が共有のビジョン並びに理念を形成することの難しさを感じた。また、市の運営基本方針への理解が薄かった。
- ・プレゼンや資料は大きな差があったのは事実だが、応募団体としての思いは点数ほど大差はなかったように思う。
- ・「共同事業体」としての組織のコンセプトがしっかりしておらず、指定管理を受けることが目標なのか。西市民プラザや地域の活性化に向けた姿勢が感じられなかった。

●一般財団法人有本積善社への講評

- ・事業に対するコンセプトが明確であり、まちづくりや人材育成に対する意識と具体性において優れており、施設運営の将来に期待ができる。この認識は、委員間で共通の評価として確認された。

- ・五老ヶ岳公園の指定管理での経験を活かしており、資料からもそれが伝わった。発信力があり、主催・共催イベントへの意欲も見えた。一方、懸念点として、駐車場の問題へのプランが（他社に比べ）なかった。
- ・コーディネーターの役割は重要であり、その育成は大変だと思うが頑張してほしい。
- ・西地区の中心市街地の活性化のため、平野屋商店街との連携だけでなく、地元（マナイ商店街）との連携も期待したい。
- ・FMまいづるの活動で着実に経験値を上げており、コーディネーターの育成もクリアできる目標であると期待している。
- ・応募資料、プレゼン、質疑を通じ、コンセプトや思いが明確で、職員（コーディネーター）を育成する意識もあり、「取り組みの姿勢」と「具体性」で他社を上回っていた。

●両応募団体への講評

- ・「建物の管理」と「西地区の中心市街地の活性化」がミッションであり、両者ともそれは理解していると思う。地元とうまく連携してほしい。
- ・今回選ばれなかった側も含め、5年後は全員でチームを組んでほしい。